



ゼロ災Challenge！2016の 実施結果について

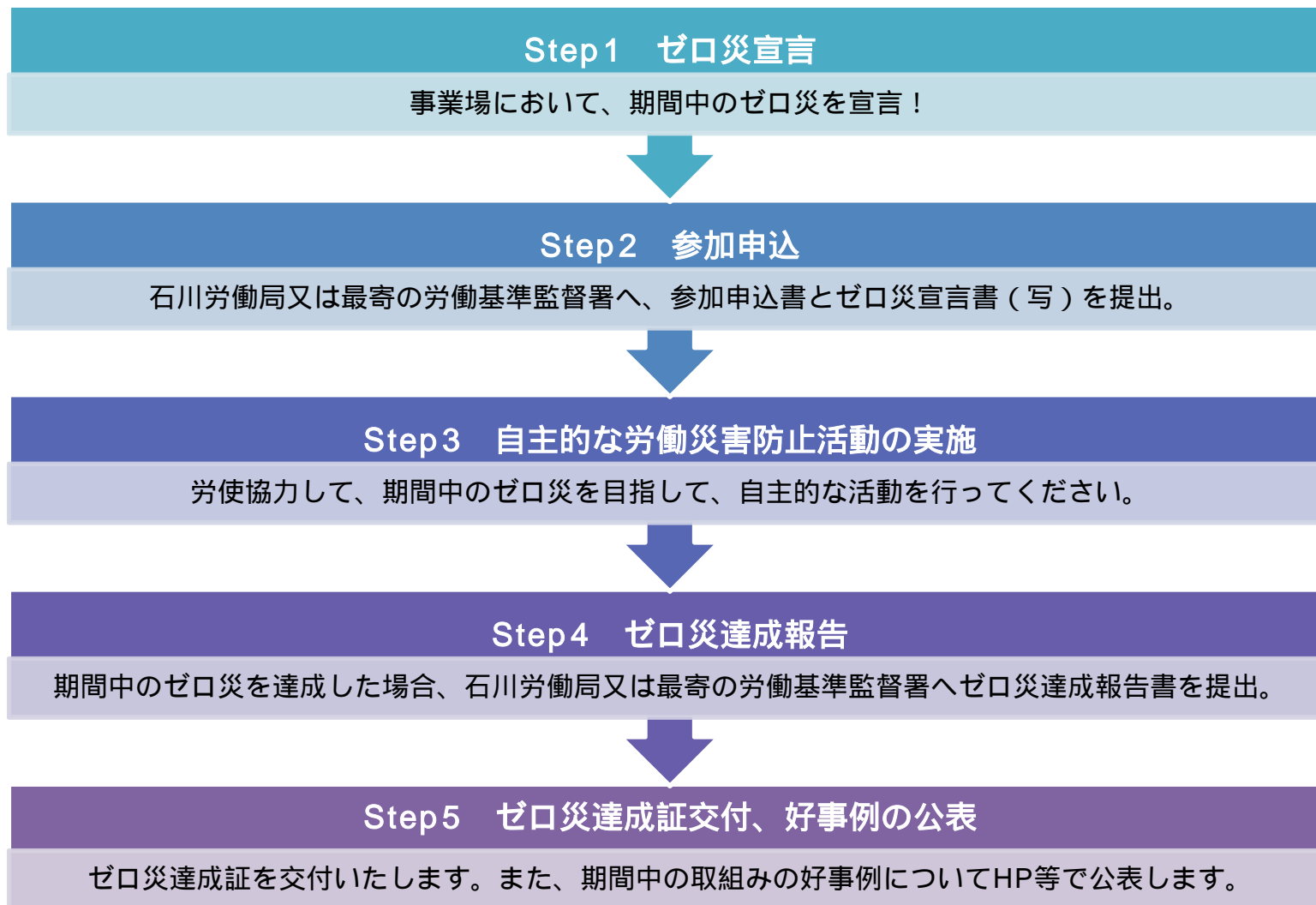
平成29年2月27日
石川労働局労働基準部
健康安全課



1. ゼロ災Challenge!2016の概要



ゼロ災Challenge！2016の概要





参加事業場数及び達成事業場数

【参加事業場数】

業種	管轄署別					労働者規模別			
	金沢	小松	七尾	穴水	合計	～49人	50～99人	100人～	合計
製造業	16	6	6	2	30	11	5	14	30
建設業	42	5	3	3	53	39	9	5	53
運輸交通業	12	3	1	1	17	11	4	2	17
商業	3			1	4	2		2	4
その他	7	2	1	1	11	3	4	4	11
合計	80	16	11	8	115	66	22	27	115

【達成事業場数】

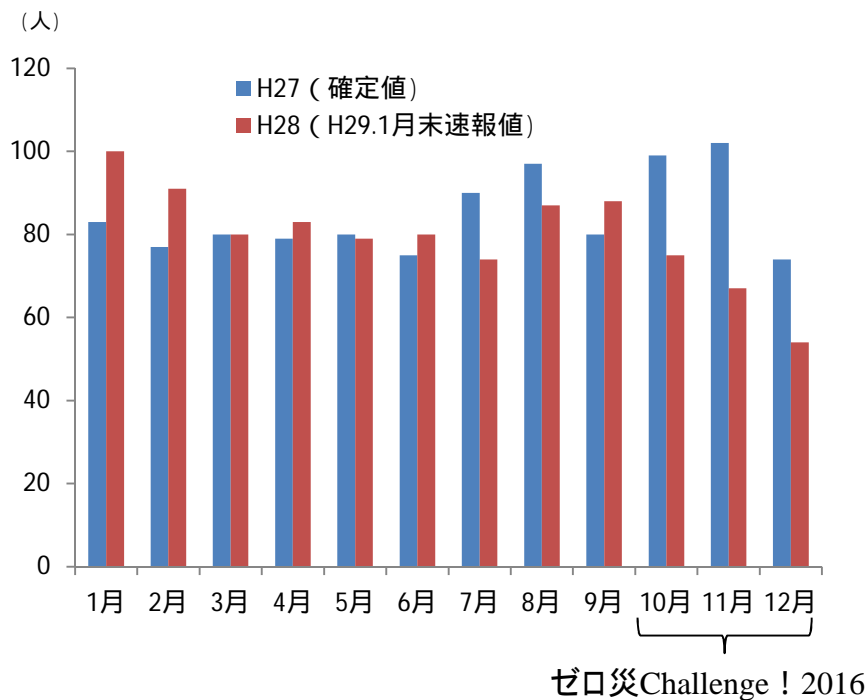
業種	管轄署別					労働者規模別			
	金沢	小松	七尾	穴水	合計	～49人	50～99人	100人～	合計
製造業	14	5	5	2	26	11	5	10	26
建設業	34	5	3	3	45	34	7	4	45
運輸交通業	7	2	1	1	11	7	2	2	11
商業	2				2	1		1	2
その他	6	1		1	8	1	3	4	8
合計	63	13	9	7	92	54	17	21	92

達成率80.0%

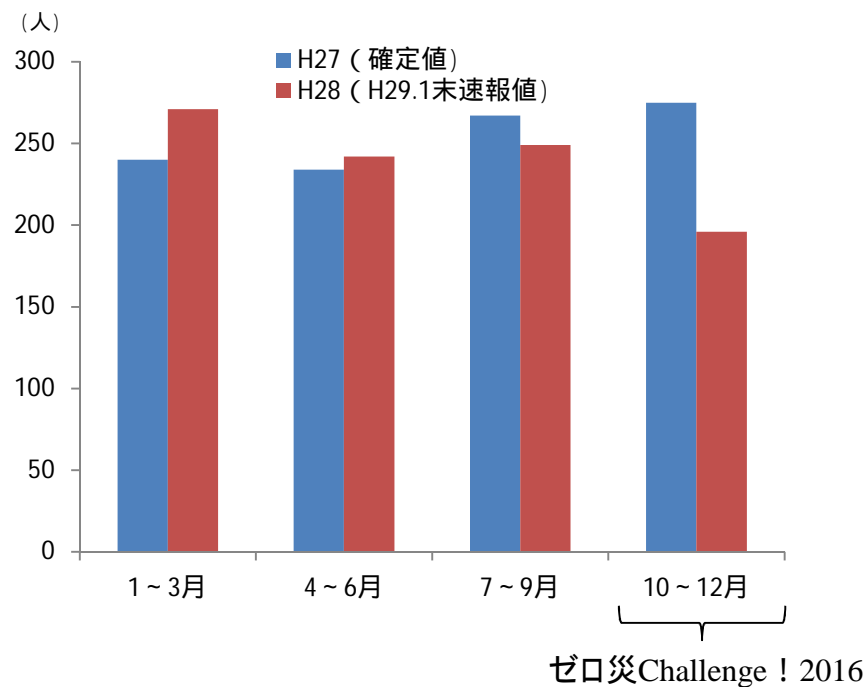


労働災害発生状況

【月別発生状況】



【四半期別発生状況】

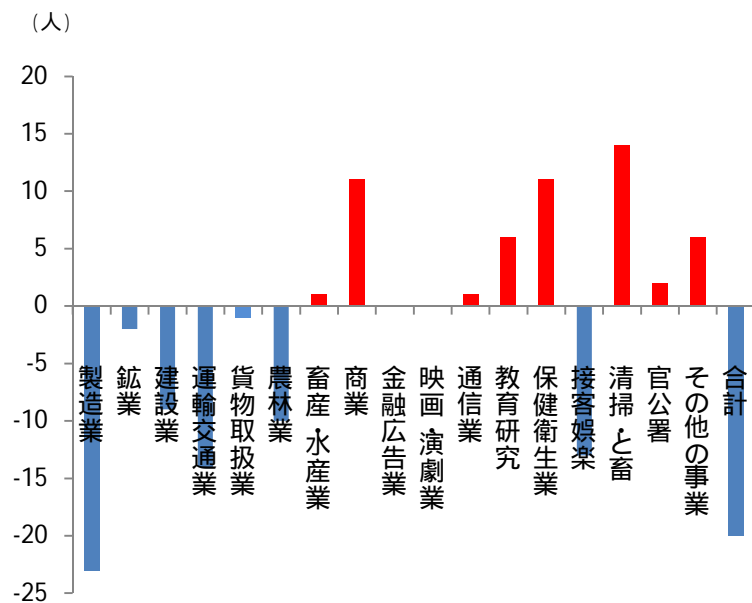


ゼロ災Challenge!2016取組期間において、対前年同時期比で28.7%と大幅減少。
H28年1月～3月期と比較して27.7%減、7月～9月期と比較しても21.3%減。



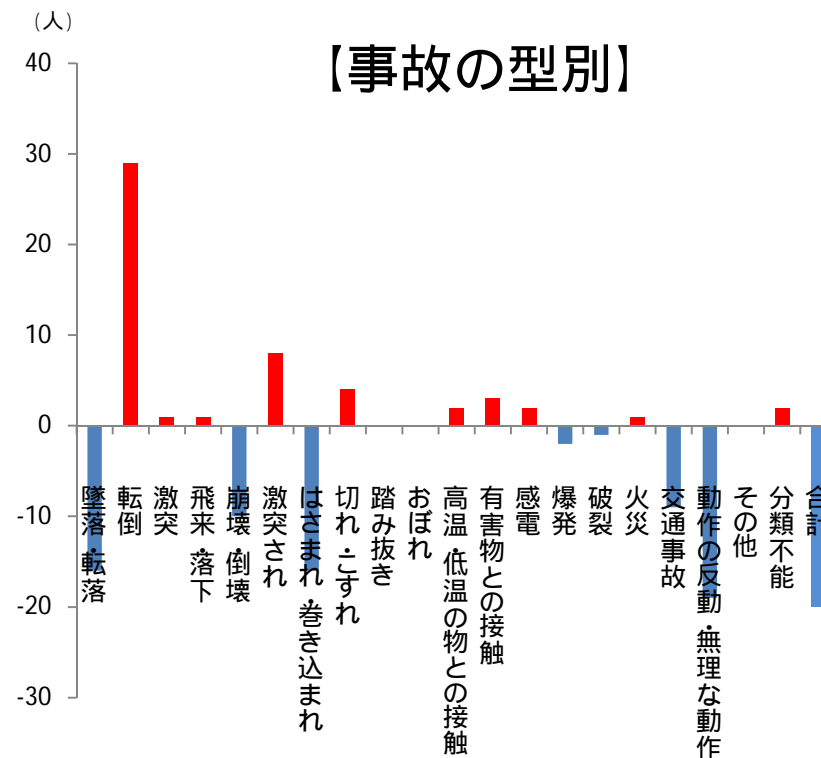
H28災害発生状況 (H29.1末速報値 対前年同月比較)

【業種別】



工業的業種は概ね減少。特に製造業で大幅減。
第三次産業では接客娯楽業が大きく減少するも、
それ以外は概ね増加。

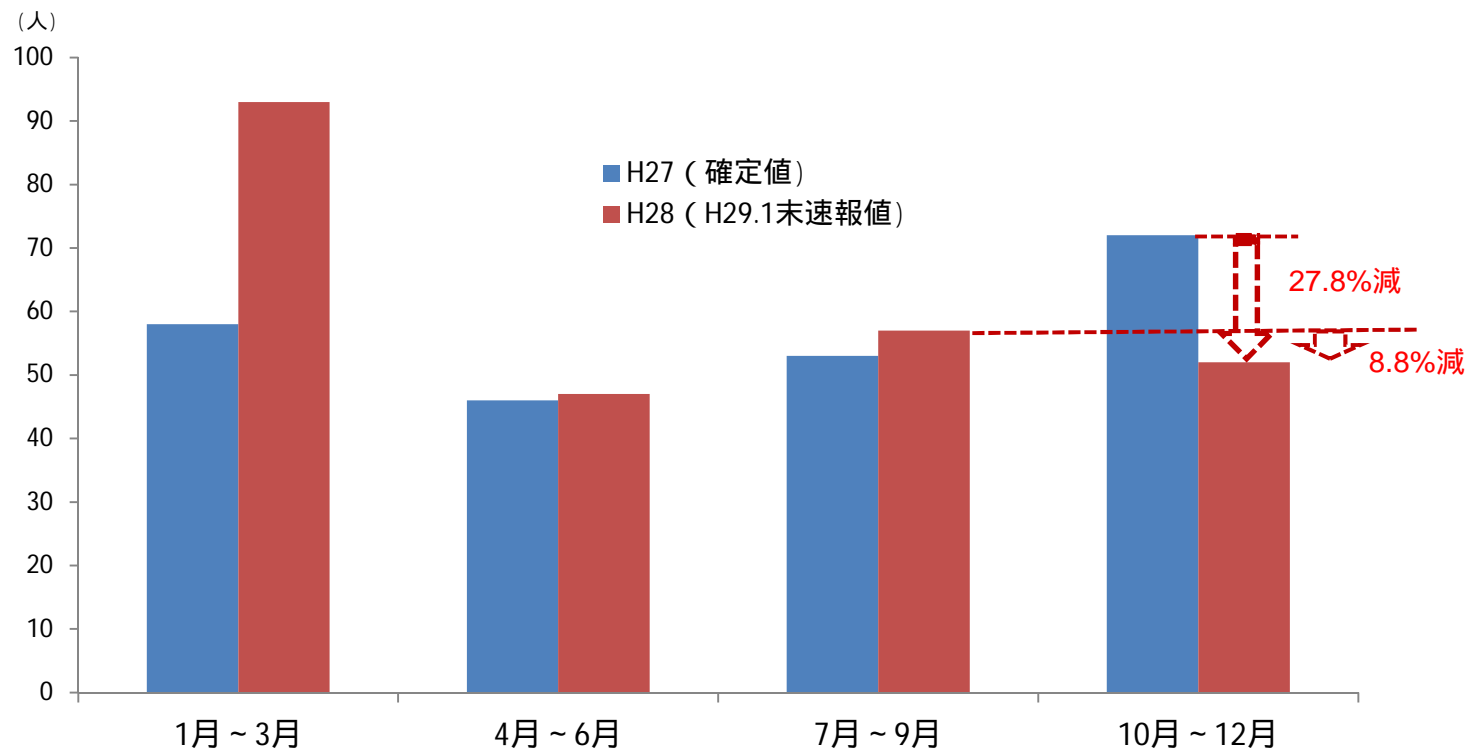
【事故の型別】



転倒災害が大きく増加。
転倒災害以外は概ね横ばい又は減少。



転倒災害発生状況 (H29.1末速報)



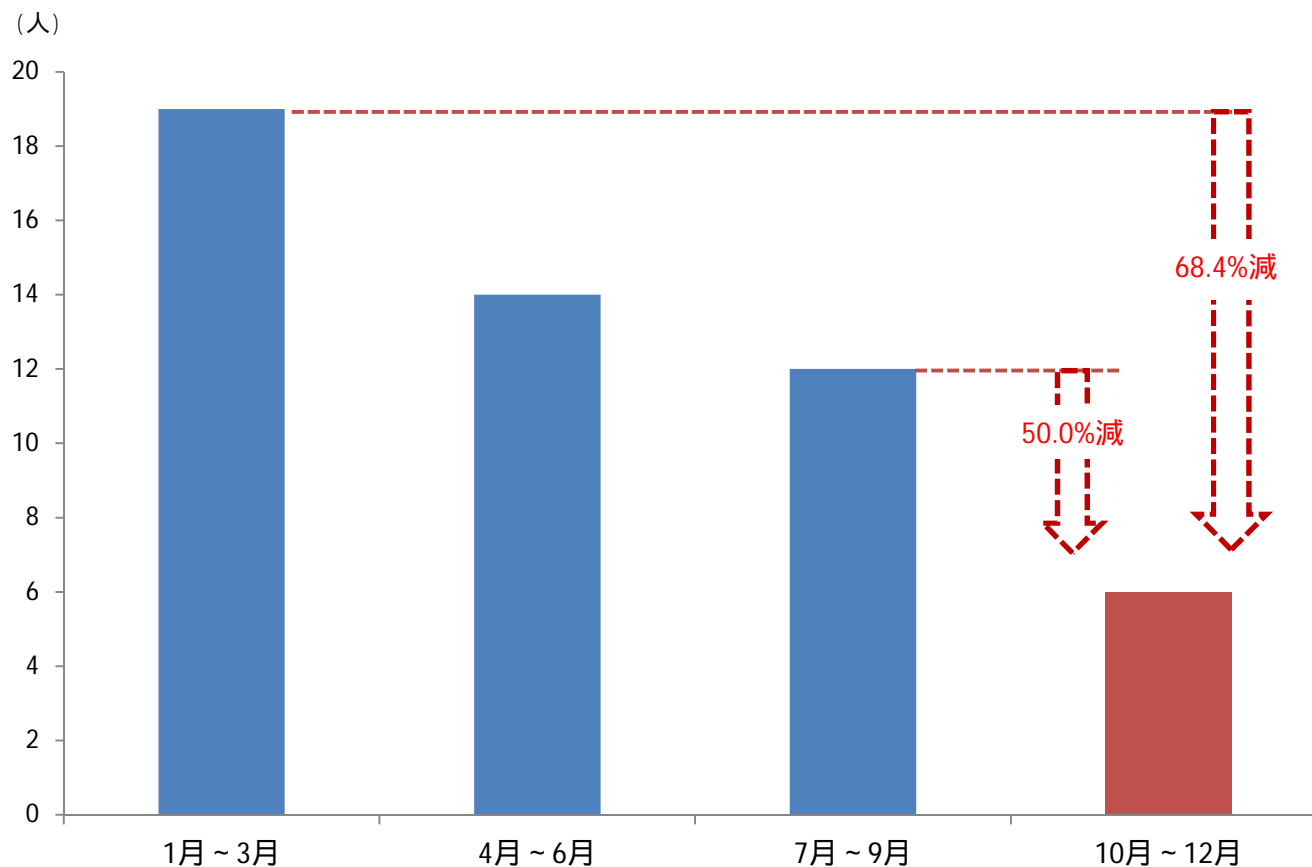
前年同時期からは27.8%と大幅減少。
H28年1月～3月期と比較して44.1%減少、7月～9月期と比較しても8.8%減少。
気象状況はH28の方がむしろ厳しい。
→減少の理由として天候の影響は考えにくい。

【参考】12月の気象状況(金沢地方気象台HPより)

	最低気温	積雪日数	最深積雪
H27	0.4	0日	0cm
H28	0.3	2日	6cm



参加事業場の災害発生状況 (H29.1末速報 有期事業を除く)

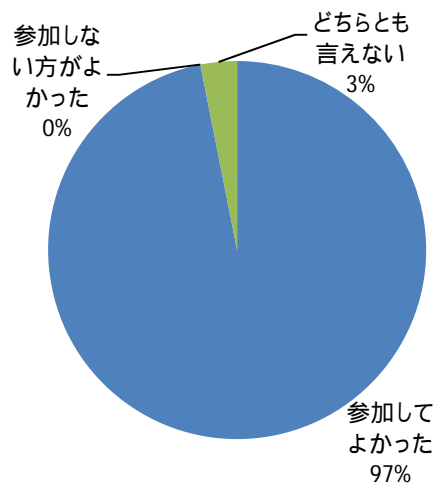


参加事業場のみの集計では、四半期ごとに最大68.4%減少。
直前3か月(7月~9月期)との比較でも50%減少。
Challenge参加により職場内の安全対策が進んだこと、期間中の労働者の意識高揚につながったことの結果と考えられる。

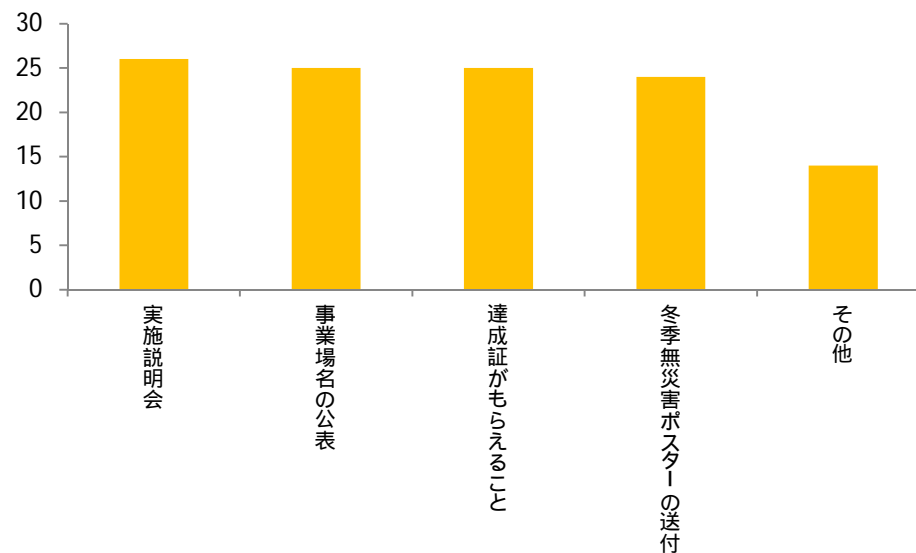


アンケート結果

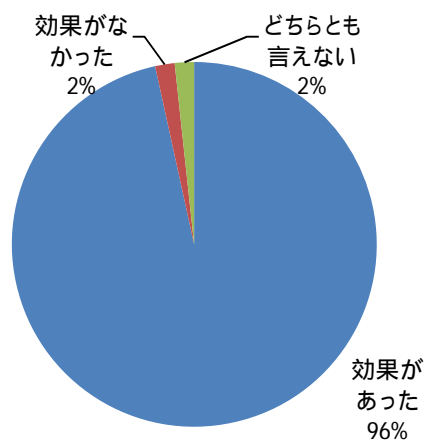
【ゼロ災Challenge!2016への参加について】



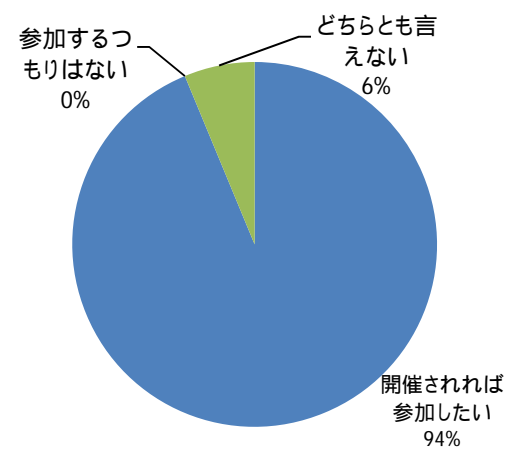
【よかったポイント】



【労災防止への効果について】



【次年度以降の参加について】



アンケート回収率55.7% (H29.2.15時点)



アンケートにおけるコメント(一部抜粋)

- 参加表明したことにより、職員及び作業員の安全意識の高揚につながった。
- 社員向けに労働局主催でインパクトがあった。
- 作業員から安全に対する意見が出るようになった。
- 冬季に転倒災害が多発することを周知でき、今のところ労災は発生していない。
- 通路整備後、その状態を保っている。
- 転倒災害をなくすために安全通路の確保や資材の整理整頓ができてきた。

…その他多数のコメントあり。



総括

- ・労働災害発生件数は取組期間において対前年同時期比28.7%減、結果として上半期対前年10.2%増であったところ、年間では2.0%減を達成(H29.1末速報値)。
- ・転倒災害は取組期間中、対前年同時期比27.8%減。年間としては1月～3月の件数が影響して前年より8.7%増加。
- ・参加事業場においては、四半期比較で第4四半期は第1四半期と比べて68.4%減と大幅に減少。



取組みとしては明らかな効果があった。
今後、期間中の取組みの継続やマンネリの防止が重要。